

願ひ

むかし 私は鳥になりたかつた
むかし 私は蝶になりたかつた
飛べるから 塀の中へ入れるからだ
塀の廻りをぐるぐる廻つた
どこにも入る所がなかつた

それから何年かたつて
私は鳥になりたいと思つた
私は蝶になりたいと思つた
飛べるから塀の外へ出られるからだ

塀を支へてゐるものが 外からも内からも
私白身なのだと気がついて
私は自分の衰れをにくみはじめ
いまの私は 塀にぶつかつて
こはしてしまひたいと思つてゐる